【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和6年3月19日(2024.3.19)

【国際公開番号】WO2023/089897
【出願番号】特願2023-562145(P2023-562145)
【国際特許分類】
H05K 1/02(2006.01)
H05K 3/28(2006.01)
【FI】
H05K 1/02 C
H05K 3/28 B

【手続補正書】
【提出日】令和6年2月7日(2024.2.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
互いに対向する第１主面および第２主面を有し、第１方向に延在する伸縮可能な第１基材と、
前記第１主面上に設けられ、前記第１主面に沿って延在する伸縮可能な第１配線と、
互いに対向する第３主面および第４主面を有する第２基材と、
前記第３主面上に設けられ、前記第３主面に沿って延在する第２配線と、
前記第１基材と前記第２基材とを接続する接続部材と
を備え、
前記第１基材は、前記第１主面に直交する方向からみて、前記第２基材と重なる接続領域と、前記第２基材と重ならない非接続領域とを含み、
前記接続部材は、前記第１主面に直交する方向からみて前記接続領域に重なり、
前記第１基材は、前記非接続領域において、前記第１主面および前記第２主面の少なくとも一方に設けられた第１穴部を有する、伸縮デバイス。
【請求項２】
互いに対向する第１主面および第２主面を有し、第１方向に延在する伸縮可能な第１基材と、
前記第１主面上に設けられ、前記第１主面に沿って延在する伸縮可能な第１配線と、
互いに対向する第３主面および第４主面を有する第２基材と、
前記第３主面上に設けられ、前記第３主面に沿って延在する第２配線と
を備え、
前記第１基材は、前記第１主面に直交する方向からみて、前記第２基材と重なる接続領域と、前記第２基材と重ならない非接続領域とを含み、
前記第１基材と前記第２基材とは、前記接続領域において接続され、
前記第１基材は、前記非接続領域において、前記第１主面および前記第２主面の少なくとも一方に設けられた第１穴部を有する、伸縮デバイス。
【請求項３】
前記第１穴部は前記第１基材を貫通する、請求項１または２に記載の伸縮デバイス。
【請求項４】
前記第１穴部と前記接続領域の間の前記第１方向の最短距離は、前記第１穴部の前記第

１方向の最大径よりも大きい、請求項１または２に記載の伸縮デバイス。
【請求項５】
前記第１方向に直交する第２方向において、前記第１配線と前記第１穴部との間に、前記第１基材の一部が存在している、請求項１または２に記載の伸縮デバイス。
【請求項６】
前記第１穴部に対して前記第１方向に配置される第２穴部をさらに有し、
前記第１穴部は前記第２穴部より前記接続領域に近接し、
前記第１方向において、前記接続領域と前記第１穴部との間の最短距離は、前記第１穴部と前記第２穴部との最短距離より大きい、請求項１または２に記載の伸縮デバイス。
【請求項７】
前記第１穴部および前記第２穴部に対して前記第１方向に配置される第３穴部をさらに有し、
前記第２穴部は前記第３穴部より前記接続領域に近接し、
前記第１方向において、前記第１穴部と前記第２穴部との間の最短距離は、前記第２穴部と前記第３穴部との最短距離より大きい、請求項６に記載の伸縮デバイス。
【請求項８】
第４穴部をさらに有し、
前記第１配線は、前記第１穴部と前記第４穴部との間に配置される、請求項１または２に記載の伸縮デバイス。
【請求項９】
前記第４穴部に対して前記第１方向に配置される第５穴部をさらに有し、
前記第１方向において、前記第４穴部は前記第５穴部より前記接続領域に近接する、請求項８に記載の伸縮デバイス。
【請求項１０】
前記第１穴部に対して前記第１方向に配置される第２穴部をさらに有し、
前記第１方向において、前記第１穴部は前記第２穴部より前記接続領域に近接し、
前記第１方向において、前記第１穴部と前記接続領域との最短距離は、前記第４穴部と前記接続領域との最短距離と異なり、
前記第１方向において、前記第２穴部と前記接続領域との最短距離は、前記第５穴部と前記接続領域との最短距離と異なる、請求項９に記載の伸縮デバイス。
【請求項１１】
前記第１穴部に対して前記第１方向に配置される前記第２穴部と、前記第４穴部に対して前記第１方向に配置される前記第５穴部とは、千鳥状に配置される、請求項１０に記載の伸縮デバイス。
【請求項１２】
前記第１穴部に対して前記第１方向に配置される第２穴部をさらに有し、
前記第１方向において、前記第１穴部は前記第２穴部より前記接続領域に近接し、
前記第１方向において、前記第１穴部と前記接続領域との最短距離は、前記第４穴部と前記接続領域との最短距離と等しく、
前記第１方向において、前記第２穴部と前記接続領域との最短距離は、前記第５穴部と前記接続領域との最短距離と異なる、請求項９に記載の伸縮デバイス。
【請求項１３】
前記第１穴部に対して前記第１方向に配置される前記第２穴部と、前記第４穴部に対して前記第１方向に配置される前記第５穴部とは、千鳥状に配置される、請求項１２に記載の伸縮デバイス。
【請求項１４】
さらに、前記第１基材の前記第１主面の少なくとも一部および前記第１配線の少なくとも一部を覆う保護膜を備える、請求項１または２に記載の伸縮デバイス。
【請求項１５】
前記保護膜は、前記第１主面に直交する方向からみて、前記穴部と重なる貫通孔を有す

る、請求項１４に記載の伸縮デバイス。
【請求項１６】
前記保護膜は、前記第１主面に直交する方向からみて、前記穴部と重なる重複部分を有し、
前記重複部分は、前記穴部の外側に位置する、請求項１５に記載の伸縮デバイス。